

第12号

2013.12.16 発行

- 巻頭言 ..... 全国犯罪被害者支援フォーラム2013に寄せて 1
- 特集 ..... フォーラム2013 報告 2~6
- 平成25年度秋期全国研修会 6~7
- 用語解説 ..... 犯罪被害者白書 7~8
- 親と子どものためのワークショップ 実施報告 8
- 編集後記 8

## 卷頭言

## 全国犯罪被害者支援フォーラム 2013に寄せて

認定特定非営利活動法人 全国被害者支援ネットワーク

理事長 ● 平井 紀夫

本フォーラムは、犯罪被害者支援に関わる方が一堂に会して、犯罪被害者支援の基本を学び、交流を深めて、日本の犯罪被害者支援活動を充実・発展させていくことを目的として開催し、今回で18回目を迎えることができました。

全国被害者支援ネットワークは、1998年5月に創設され、現在では全ての都道府県に被害者支援センターが設立され、48の被害者支援センターが全国各地で活動しております。「被害者が日本のどこにおいても、いつでも支援を受けられる」という目標に近づいてきていますが、その内実には多くの課題もあります。被害者の多様な声に即応していくためには、関係諸機関・諸団体との緊密な連携、協力が欠かせなくなってきており、関係諸機関・諸団体の連携を深めることが大きな課題になってきています。そこで本年のフォーラムは、「犯罪被害者支援における連携のあり方」をテーマといたしました。

本年のフォーラムには、秋篠宮同妃両殿下のご臨席を賜り、大変光栄に存じ、感激いたしますとともに、被害者支援の責任の重さを実感しつつ、今後の被害者支援活動に大きな力をいただきました。

第一部の表彰式では、被害者支援活動にご尽力いただいた支援功労者及び功労団体を表

彰させていただくとともに、被害者支援活動をご支援・ご協力いただいた方に感謝状を贈呈させていただきました。今後とも被害者支援活動にご尽力、ご協力いただきますようお願いする次第です。

次に「私の体験と支援に求める」と題して、犯罪被害者の小佐々<sup>きよ</sup>冽子さんにご講演をいただきました。犯罪被害者のご体験－悲しみ・苦しみ・怒り、そして、犯罪被害者の立場から今後の被害者支援に求めるについてお話をいただきました。お話を通じて犯罪被害者の真実に迫ることができ、支援の必要性や被害者・加害者を出さない社会へ向けて多くの示唆を得ることができました。

第二部のパネルディスカッションでは、「犯罪被害者支援における連携と今後の展開」をテーマに、「関越自動車道高速バス居眠り運転事故」を実例にして、被害者支援における関係諸機関の支援の実情から課題を明らかにしていただきました。ディスカッションを通じて、今後の被害者支援への取り組みの方向性、特に関係諸機関・諸団体間の迅速な連携、ネットワークづくりの強化等今後の具体的な取り組みの方向性、そして、被害者支援センター間の連携のあり方等を明らか

にしていただきました。参加者の皆さん、日頃の支援活動を通じて感じ取っておられる課題に鑑みつつ、今後の被害者支援に役立つ事柄を学んでいただけたものと確信しています。

ご参加いただいた皆様が、本フォーラムを通じて学び取られた事柄を今後の被害者支援活動に活かしていただき、日本の被害者支援の質の向上及び充実に繋がることを心から願っております。

